2019年9月の格言

令和元年９月の格言は

社員の第二の人生に
心をくばる社長は
「名社長」である

俸給生活者にとっては
定年は絶対にさけることができない大きなショックである
会社側とすれば退職金とか年金を
払えば規定の上では済む

しかし定年になった社員とその家族にはまだ生活がある
そしていままでとは全く違った条件のもとでの生活が始まるのだ
定年社員の第二の人生を考えてやることこそ
社長として大切なことであるに間違いない

定年社員の人生といえば自営組や数少ない悠々自適組を除けば
「再就職」である
この再就職について面倒をみてやることである
社員の第二の人生まで心をくばる社長は私の知る限り全て
「名社長」である

これは決して偶然ではなく
真剣に自らの事業に打ち込んでいる間に
自然に社員の第二の人生まで考えてやるようになるのではないか
と私には思えるのである

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より